

倉庫・事務所新築工事

お客様紹介 N様



2021年に倉庫を新築で工事させて頂いた前河通商の前河社長より、現本社を取壊して新築で事務所と倉庫の建築を予定している。出資は、現本社の土地を賃貸している地権者がされることとなる。是非、弊社で受注して欲しいとの依頼があった。施主は、地権者の中井建夫様です。

前河通商様に事務所及びトラックの駐車場を貸されている地主様は、S17年11月13日生御年80歳の中井建夫様。栗東蜂屋近辺にたくさんの土地を所有して、ダスキン営業所やそろばん塾他にも倉庫を数棟お持ちで、工事会社や開発業者の知り合いが多く、前河社長のお勧めはあったものの工事費用を重要視され、お知合いの工事会社と相見積りとなった。

横河システムの利点を最大限に生かして、大スパンで高品質で低コスト、短工期の横河システムでの概算見積りが他社と比較しても大きく優位性があり、弊社の受注を即断して頂きました。

その後、設計監理も契約頂き、事務所部分を倉庫の中に入れての施工となりました。

実際に倉庫と建物を使用される前河社長中心で建物仕様を決定して、順調に施工させて頂き、お客様の最大のご希望であったゴールデンウィーク前にお引渡しし、連休期間中にお引越して頂くことができました。

完成後は、お客様から飛躍的に生産性が上がった。と高評価を得ており、新事務所と新倉庫を利用して、前河通商様のお客様の商品扱いを倍増されて更に飛躍される予定です。

にぎわい



【発行元】 第222号
株式会社大兼工務店 いちご倶楽部
0748-42-1151

◆topics◆
お客様紹介 N様 倉庫・事務所新築工事
当社の取り組みがNHKで放送されました。
キラリまちの人 飯田 香織 様
チャンプレース守山6丁目
Dタイム
Information



気持ちをそれぞれに通わせるような風通しのいい社風になるよう取り組んでいる



当社の取り組みがNHKで放送されました。

当社の取り組みが6月6日の「おみ630」と「関西NEWS845」のNHKで放送されました。(6月14日の朝の全国ニュースにも放送されました。)

「人手不足が課題となっている建設業界では、若手社員をどう会社に定着させるかが大きな課題になっています。そうしたなか、滋賀県の建設会社は研修などを通じて若手のモチベーションを上げる取り組みを行っています。」

「国の統計によりますと、建設業界で働いている人のうち29歳以下の割合は最近では全体の1割程度にとどまっていて、若手のなり手不足が課題です。」

この課題に当社は、社内研修や社内行事などに参加するとポイントをもらえるスタンプカードを使って参加を促しています。また、人それぞれの人間力を高める為、自身では知り得なかったことを知る機会を毎月設け、社長はじめ管理職や先輩・同僚・後輩を各小グループに分けて、自分はどういったところが素晴らしいかを聴く場があり、若手社員の定着を図っています。

放送された動画のQRコードを載せますので、もし良かったらご覧ください。



キラリ まちの人

飯田 香織さん



今回は東近江市南佐野町(旧能登川町)にお住いの三味線演奏者であり指導者の、飯田香織さんをご紹介します。

小学生の頃にお母様から琴を習い、和の音色を楽しめます。洋楽器もピアノ、ドラム、トランペットと数多く習われたのですが、やはり和楽器の魅力は強く、なかでも三味線の音色が忘れられなかつたそうです。「習いたかつたのですが、周りの大人たちが皆難しいと言っていたので、諦めてしまったんです」と飯田さんは思い出されます。

地方新聞の記者になり20年、子育ての時期に家庭の都合で退社されました。育児も一段落し、自分の時間ができてくると「難しいけど津軽三味線に挑戦したい」との気持ちがかみ上げ、募るばかり。ある日新聞チラシの「三味線体験教室」の文字に激しく反応し、体験教室に参加され、すぐに民謡三味線を習う事を決意されました。「子供の頃から憧れの楽器を弾けば、その音色に惚れられと聞き入りやっぱこれだ」と一弾惚れでしたね」と笑われます。翌年民謡三味線の発表会に出られますが、高橋竹山氏のCDに感激され「やっぱ津軽三味線が弾きたい」と、彦根・長浜市を中心に活動される津軽三味線 日本民謡鈴政会の家元、鈴政政氏に師事されます。津軽三味線には2つの演奏法があります。一般に良く知られている叩き三味線。もう一つは、ボサマと

呼ばれる盲人が、門付け(家の軒先)演奏していた弾き三味線。飯田さんは繊細な音色を奏でる弾き三味線に魅せられ、10年かかると言われる三味線演奏者になるために、毎日3時間の練習に取組まれます。猛練習のかいあって、2年後に名取となられ「鈴政政」の名をもらわれました。以降、彦根・東近江市を中心に演奏会と体験会を開催され、和楽器の魅力発信され続けられます。そして3年後、当面の目標であった名取師範となられます。



今では能登川地区文化協会加盟の三味線サークルで、20代・80代の9名の生徒さんを指導されています。「いきなり津軽三味線を演奏するのは難しいので、三味線演奏の楽しさを知ってもらうために民謡を半年、その後津軽の入門曲、そしてじよんがら節を弾く。そんな感じで指導しています」と話されます。三味線の難しさは何と云っても、耳と体で曲を覚えること。譜面もなければ、棹にギターのようなフレットもありません。師匠の演奏を見ながら棹の手の位置、音を耳で聞きながら、自分自身で演奏メロの様な覚悟を作り、何度も何度も弾くことで演奏技法を自分のものにするのです。「今の皆さん

は譜面に慣れていないので、この練習法には馴染めないようなんです。ですからサークルでは私が譜面を作って、19あるツボの主要部分を棹にマークして教えています」と話されます。そのかいあって、じよんがら節を弾かれる生徒さんも数人おられるとか。伝統だけに捉われず、親しみやすく解り易い指導法は大切にすよ。昨年から東近江市ライオンクラブ(生涯学習)の三味線講師として講座をスタートされた飯田さん。8名の生徒さんたちは、12月の講座修了式にクリスマスコンサートとして5曲演奏されたそうです。発表の場という目標があるのは、緊張しますが励みと自信にもなるでしょうね。

これからの夢をお尋ねすると「大人だけじゃなく子供たちにも、和楽器の体験をして欲しいですね」と、小学校に出向いて三味線教育・体験の企画を話して下さいました。当面の問題は三味線の本数を増やすこと。「一棹20万円くらいするんです。中古品でも8万円。40人のクラスなら200万円。40人のクラスなら200万円はない」と笑われます。東近江市文化団体連合会や能登川地区文化協会などで要職に就かれる傍ら、11月に奥永源寺政所、瓦屋禅寺、能登川文化祭、東近江市文化祭、12月にはライオンクラブ講座のクリスマスコンサートで演奏の予定と活躍されています。益々のご活躍をお祈りします。

だいかねの家

利便性抜群！人気のエリア

シャン・フレイズ守山6丁目

好評!! 土地分譲中

学校・病院・スーパー・商業施設が徒歩圏に揃う好立地！
緑あふれる公園も充実の閑静な住環境は子育てファミリーに最適です

全11区画	号地	面積	販売価格	
	1号地	169.29㎡ (51.21坪)	2,308万円	
	4号地	184.01㎡ (55.66坪)	2,395万円	
	6号地	169.22㎡ (51.21坪)	2,253万円	
	7号地	169.51㎡ (51.27坪)	2,179万円	
	8号地	商談中		
	9号地	169.53㎡ (51.28坪)	2,205万円	
	<small>1区画 全容概観 ■所在地 守山市守山6丁目 ■交通 近鉄守山線「守山駅」徒歩20分 ■学区 守山6丁目 ■用途 住宅地 ■2層中高層住宅専用 ■建築費 約600万円 ■敷地 約600㎡ ■道路 約6m (アスファルト舗装) ■電気/ガス/水道/下水道/排水 2020年12月初旬完成 ■価格 約2,300万円(消費税別) ■7-8号地は建築費別途必要(約100万円) ■費用負担なし ■土地販売価格/2179万円~2411万円 ■土地面積/169.27㎡~184.09㎡ ■諸費用 仲介手数料/土地売買契約締結後、3か月以内に建築工事請負契約が成立しなかった場合、土地売買契約は白紙となり、後払いの金額は契約金で返金します。</small>			

Contact

お気軽にお問合せください

お電話 0120-15-4939

受付時間 9:00-18:00

お問合せフォーム

LEE My star aquiras+

LEE はおしゃれと暮らしを楽しむ女性を応援するライフスタイルマガジン。このコロナ禍において、ステイホームにも負けず、日々の暮らしを楽しむ読者たち。"クオリティ・オブ・ライフ"の向上を目指す彼女たちの興味にオールジャンルで答えます。そんな LEE の一冊も暮らしも楽しい家づくりに大兼工務店が滋賀県代表で取り上げられました！

Instagram フォローする お願いします。

だいかねの家

だいかね My star

TEAM DOBOKU

YouTube チャンネル登録 お願いします。

だいかねの家_大兼工務店

ありがとうマンが贈る

~心に残るありがとう~話

第179章 タイム

先日、過去に感動した記事がある、ある本を手に取り、改めて読んでみました。それは、かの有名な道場六三郎さんの実話です。私もこの記事に何度も救われて救われて……。いてもたってもいられず、シェアさせていただきます！「一流とは……」程遠いですが、日々胸に刻んで生きていきます！では、皆さんにご紹介させていただきます。では、始まり、始まり……。

「こころ」一番の踏ん張りどころ

神戸観光ホテルで修業した時は、往生しましたよ。板長にいじめられたんです。彼女たちに気を遣っていたから、結構可愛がられていたんです。だから「ろくさんお願いね」という風に、何かと声をかけられる。それは本来、板長など上の人を通してもらわないといけないことだったから、板長はおもしろくない訳です。僕は当時20代前半。向板(むかういた)という魚をおろす係をしていました。それ以外に板場の進行役でもあったため、一日約15時間は働きましたよ。忙しいからなるべく早く調理場で準備したいのに、板長が意地悪をして開店の1時間前でない調理場に入れてくれない。準備にはどんなに急いでやっても、たつぱり2時間必要でした。僕は調理場を動き回り、いつも以上に「早く、綺麗に」仕事を工夫するのです。その様子を見た先輩は、僕のことを「駆逐艦」と呼んでいました。それでも板長は「このボケ、遅いぞ」と罵声を浴びせてくる。折角作った料理も気に入らないとひっくり返される。

それが毎日毎日続くものだから「もうこの商売をやめようか」と思うようになりました。僕は子どもの頃から辛いからといって、途中で投げ出したことはない。それがこの時はやはり、真剣にやめようかと考えました。でも、考え直したんです。折角ここまで修業してきたのに、やめてしまったらまた一から出直しでしょう。ここが踏ん張りどころだと思いました。そして「どうやって、もうこれ以上はできない」というぐらまでやってみることにしました。『早く、綺麗に。早く、綺麗に』と唱えながら、死に物狂いで仕事をこなしました。どんなにいびられてもへこたれない僕を見て、板長のいじめも徐々に治まって行つたのです。あの時、頑張れたから今の僕がある。もし苦しいことから逃げ出すことを選択していたら、ズルズルと落ちるところまで落ちていたと思う。人生には「こころ」一番という踏ん張りどころが何度かある。

どんな分野でも一流と呼ばれるのは、そういう「こころ」の局面で踏ん張ることのできる人だよ。二流は踏ん張れないから、今まで築き上げて来たものまでガラガラと崩れてしまうんだ。人間、一度でも崩れることを許したら崩れ癖がついて、次の「こころ」一番も頑張れない。

一流と二流の違い、「こころ」の局面で踏ん張ることができる人が一流と呼ばれる人!!!
人間、一度でも崩れることを許したら崩れ癖がついて、次の「こころ」一番も頑張れない!!!
自分との戦いですね。そんな自分と戦うには、どうなりたいのか! どうありたいのか! そんな想いが必要じゃない!
自分にとって、そんな想いを見つめ直してみようと思わせてもらいました!!! by ありがとうマン